

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

沖縄県		
学校名	管理機関名	設置者の別
金武町立中川小学校	金武町教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等
金武町立 中川小学校	金武町立中川小学校ウェブサイト 令和4年度特別の教育課程の自己評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring/kn_syokai/kn-english-01.html	金武町立中川小学校ウェブサイト 令和4年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring/kn_syokai/kn-english-02.html

※8月末までに上記URLにおいて公開

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必須となるグローバルな視野を持った人材を育成するため、1～4学年に「英語活動」を設置し、「外国語活動」と合わせて年間34～50時間を英語教育に充てる。

- ・小学校1学年において、音楽を11時間、図画工作を11時間、体育を12時間削減し、34時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校2学年において、音楽を10時間、図画工作を10時間、体育を15時間削減し、35時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校3～4学年において、総合的な学習の時間を15時間削減し、外国語活動とあわせて、3・4年生で50時間の「英語活動」を設置する。

※教育課程全体は【別表1】の教育課程編成表を参照

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

金武町は、明治・大正時代、當山久三翁に代表されるように、ハワイをはじめ北米・フィリピン・中南米への海外移民の先駆をなし、現在多くの方々が現地で活躍している。そのような歴史的背景から海外移住者子弟等の受け入れ事業、ハワイ州カポレイミドルスクール姉妹校交流事業、ハワイ短期留学派遣事業、海外ホームステイ派遣事業等の国際交流事業が行われてきた。

金武町は、リゾート施設(外国資本)・医療施設・リハビリ施設等の一体型施設が着実に建設されており、英語を使える人材の育成が望まれている。よって、平成27年度以降、小中が連携した系統的・段階的な英語活動(英会話科)の推進で、本町の掲げる「国際性に富んだ人材育成」を図って

いる。

(3) 特例の適用開始日

平成27年4月1日

平成30年4月1日 変更

令和2年4月1日 変更

(4) 取組の期間

令和5年3月31日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

<特記事項>

4. 実施の効果及び課題

(1) 中川小学校では「夢や目標を持ち、心身ともに健康でたくましく、持続可能な社会に貢献する」を大きな柱とし、「よく考えやり抜く子(知)」「心はひろく思いやりのある子(徳)」「健康でたくましい子(体)」を教育目標に掲げている。また、国際理解教育の目標として、①地域を愛する心を育て、日本の文化・伝統に誇りをもつとともに外国の文化を理解し、互いに尊重する態度を育てる、②相手の気持ちを思いやり、だれとでも仲よくする気持ちを育てる、③自分の考えや意見をはっきり表現できる子を育てる、を元に低・中・高学年別に目指す子ども像を立て、日々の英語活動に取り組んでいる。また、本校はユネスコスクールであり、本特例校事業を国際理解教育の一環としてESD教育(Education

for Sustainable Development, 持続可能な開発のための教育) を推進している。

児童アンケートを見ると、どの学年も友達と楽しみながら、英語活動を行っていることが伺える。学年が上がるにつれて、楽しさの割合がアップしていることから、英語学習の積み重ねが、授業に向き合う自信につながっていることが考えられる。

しかし、ALTとの英語でのコミュニケーションは、学年が上がることにより内容がレベルアップしていくので、自信がもてない児童が一定数いることがうかがえる。

金武町には米軍基地があり、基地従業員も多く、保護者のネイティブスピーカーとの会話をすることが多いことから、身近に英語を必要と考える児童も多い。【別表2】

児童(1～4年)へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。(抜粋)

「英語を勉強することは大切だと思いますか。なぜそう思いますか。」の問いに対して

- ・世界中の人とともだちになれるから。(3人)
- ・英語をおぼえると仕事に入れるかもしれないから。
- ・英語がわからなかったら自分がこまるから。
- ・自分の英語がしっかりできているのか確かめたい。
- ・外国の人と会った時役に立つと思うから。(5人)
- ・沖縄は日本人以外の人もいるので、英語ではなせることは必要だとおもいます。
- ・サッカー選手になって外国にいったとき。

教師へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。(抜粋)

- ・国際交流会でフィリピン出身のALTの先生と交流することで、英語圏やその他の国に興味を持つ子どもが増えてきた。
- ・英語を進んで活用するようになった。
- ・他国に興味を持つようになった。
- ・英語の授業がある日を待ち望んでいる様子が見られた。また、英語の歌やダンス等の活動を積極的に行う児童が多くなった。
- ・引っ込み思案気味な子も積極的に楽しんで参加できるようになった。

保護者へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。(抜粋)

- ・沖縄県では英語が必要になることが多いので、もっと増やしてほしいです。また、英語を話す保護者の方も多いので、ぜひ交流会のようなものも開いてほしいです。
- ・父親がアメリカ人のため、うちの子は英語を話すことができますのですが、読み書きがまだできないため、英語の授業で読み書きがあつたらいいのかと思いました。
- ・子どもが英語に全く興味がないので何とも言えません。こども園での生活の中にも大いに英語教育を取り入れたほうが小学校入学後もやる気が出ると思います。
- ・小学校入学前から英語に力を入れないと、いきなり小学校から始めてもなかなか興味がわかないのかなと、自分の子見てたら思います。逆に、英語の授業がわが子は大嫌いです。上手く話せないのに、発表させられる事がものすごく嫌みたいです。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

英語活動で学んだことが、学校生活や日常生活で役立ったり、成果を表せたりすることが、児童たちの自信と向上心につながると考えられる。それにおいては、児童だけの意識だけでなく、とりまく人や環境が後押しすることが必須である。

また、各教科に横断的に取り入れるシステム作りも必要であることから、教科を担当する教師が、年間マネージカリキュラムを意識することで、教科の単元と組み合わせて実施することが、児童の向上心を揺さぶると思われる。

例1 算数：図形 + 英語 = triangle, square, circle, Draw a line など

例2 図工：描く + 英語 = color, red, blue, white, Hold a brush など

例3 社会：地図 + 英語 = map, school, park, station, Turn right など

5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示したことを踏まえて、成果・課題・今後の方向性を以下に記す。

(1) 成果

- ・児童のほぼ9割が英語の授業を楽しんでいる。
- ・平成27年度から年度を追う毎に英語を使うことへの抵抗感がなくなっている。
- ・保護者の英語教育に対する評価は高く、今後も取組を継続してほしいという意見が多い。
- ・外国語の互見授業を合計5回実施することができ、小学校と中学校の教諭及びALT・JTEがお互いの授業を見学することで理解を深めることができた。
- ・昨年度から町内のALT・JTEの先生方に3小学校に来てもらい国際文化交流を実施している。インド、フィリピン、アメリカ、オーストラリアなどの文化を紹介してもらい、児童も日本や地域の文化等を調べ発表するなど良い交流ができ、外国に興味・関心を示す児童も出てきた。

(2) 課題

- ・担任主導の授業法の推進
- ・チームティーチングの充実
- ・カリキュラムの見直し及び内容充実

(3) 今後の取組の方向性

- ・互見授業を通じた授業改善
- ・スモールトークの充実
- ・担任とALT・JTEとの打合せ時間の確保
- ・外国人との交流の推進・内容充実

6. 資料

- (1) 教育課程特例校に関する教育課程編成表 【別表1】
- (2) 令和4年度教育課程特例校に関するアンケート（1年～4年）【別表2】
- (3) 令和4年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）【別表3】
- (4) 令和4年度教育課程特例校に関するアンケート（保護者）【別表4】

【別表1】 教育課程特例校に関する教育課程編成表

1. 金武町立全小学校

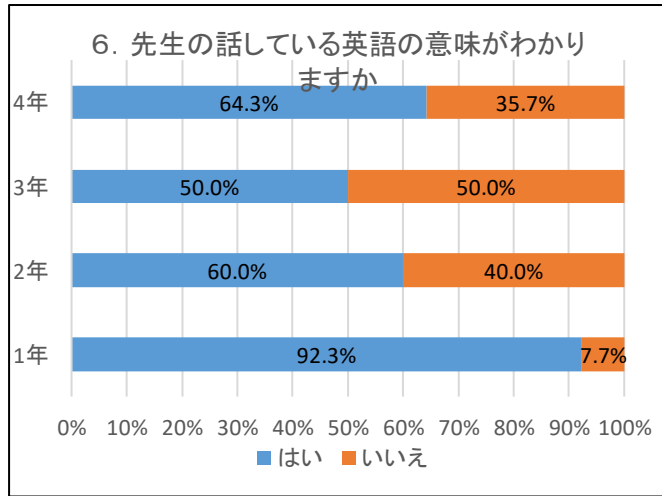
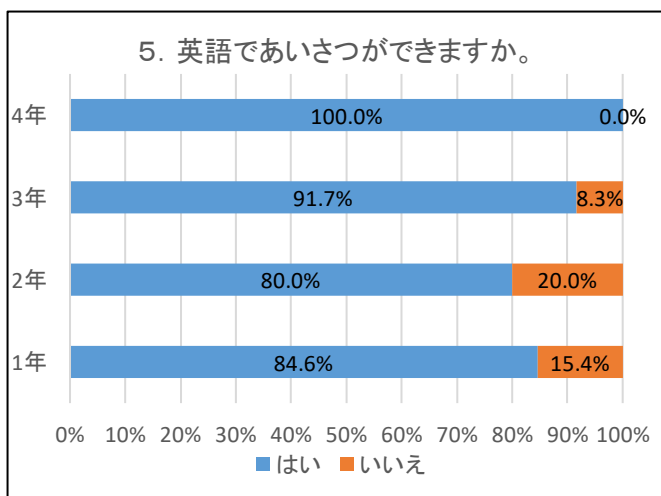
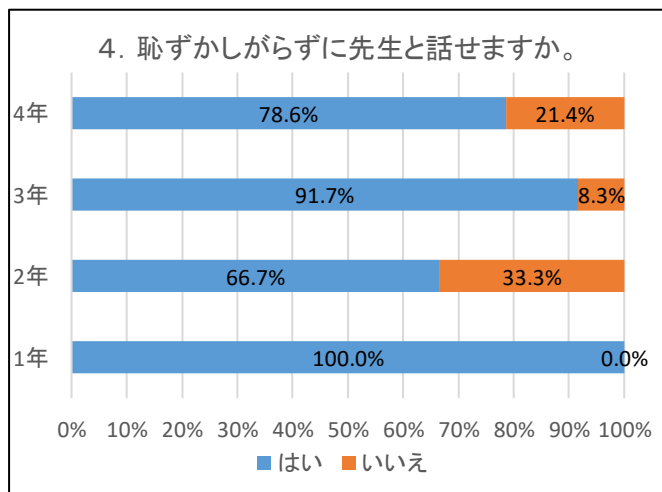
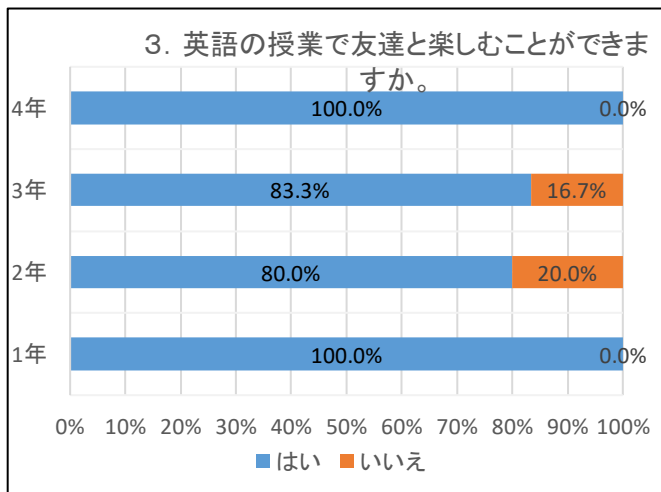
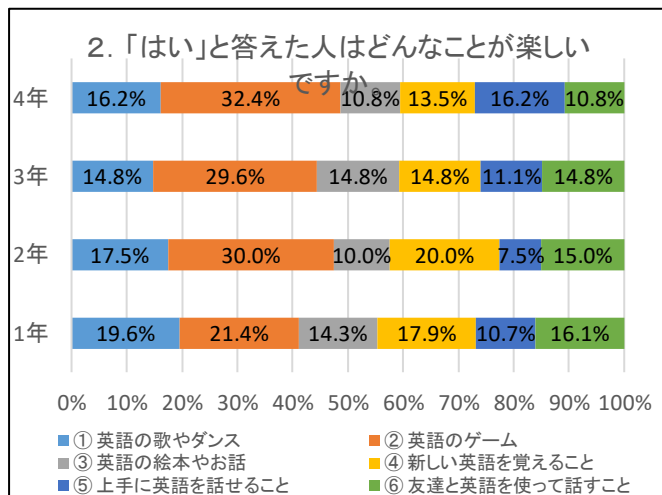
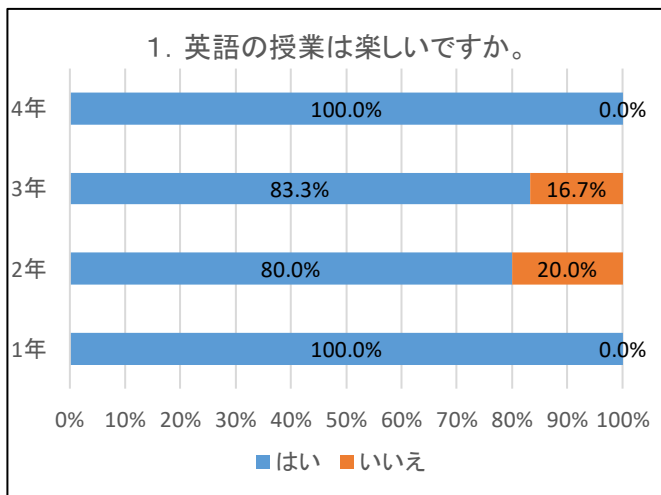
区分	各教科の授業時数									道徳の授業数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業数	外国語・外国籍の授業数	特例校英語活動の授業時数	総授業数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
第1学年	306		136		102	57 (-11)	57 (-11)		90 (-12)	34	34			34 (+34)	850
第2学年	315		175		105	60 (-10)	60 (-10)		90 (-15)	35	35			35 (+35)	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	35	70	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	35	35	70	70		1015
合計	1461	365	1011	405	207	337 (-21)	337 (-21)	115	570 (-27)	209	209	250 (-30)	210	99	5785

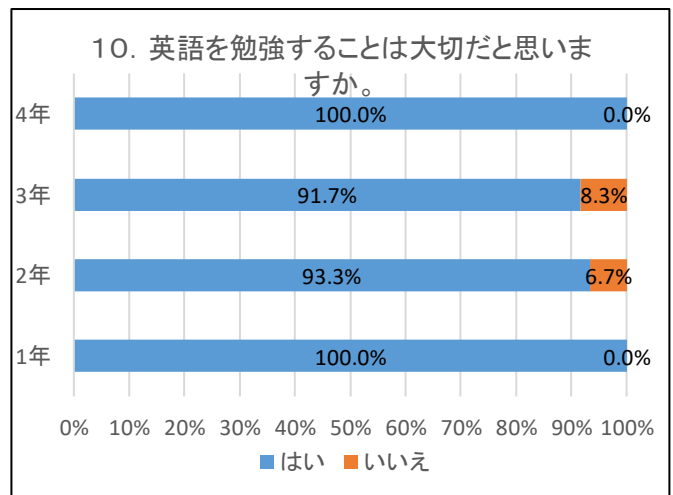
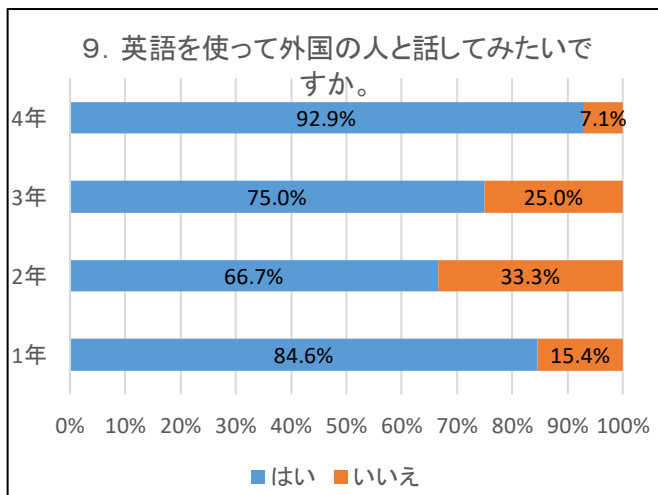
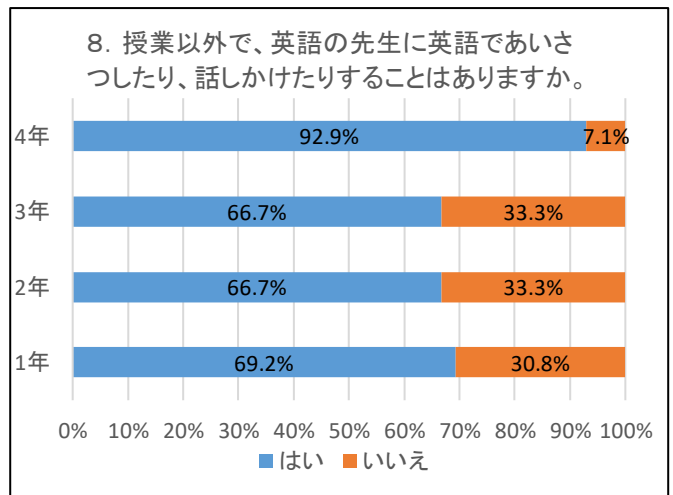
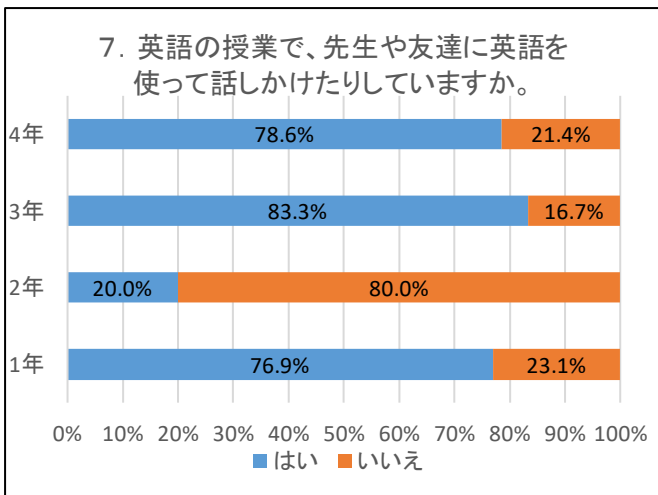
※ 第3学年～第4学年においては、「総合的な学習の時間」15時間を削除する。

※ 標準授業時数と異なる授業時数を設定する教科等については、標準授業時数からの増減を（ ）で記入し、網掛けにて表記。

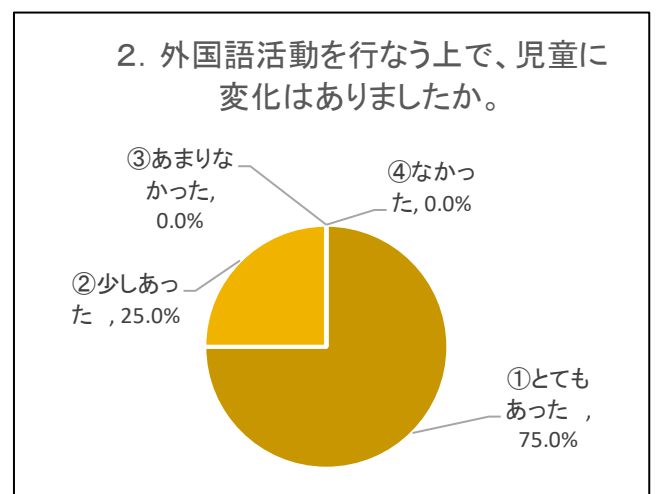
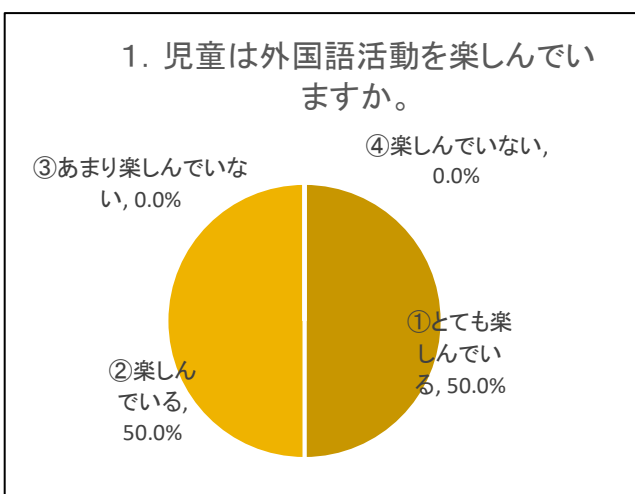
【別表2】令和4年度 教育課程特例校に関するアンケート（1年～4年）

令和4年度 教育課程特例校に関するアンケート（1年～4年） 集計表 中川小学校

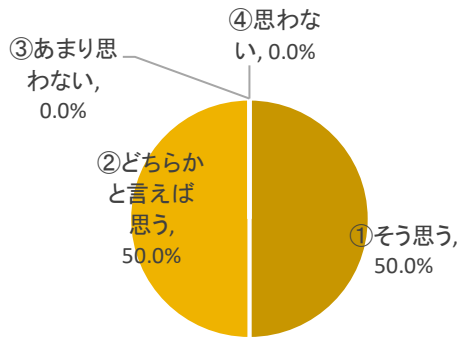




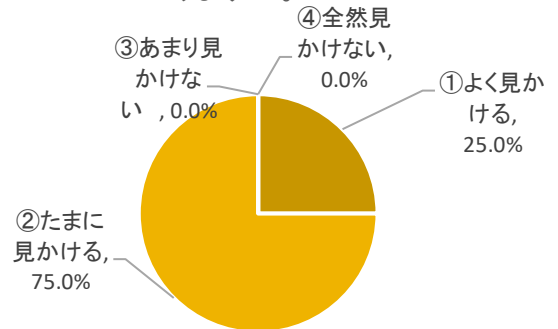
【別表3】令和4年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）
 令和4年度 英語活動に関するアンケート（教師用） 中川小学校



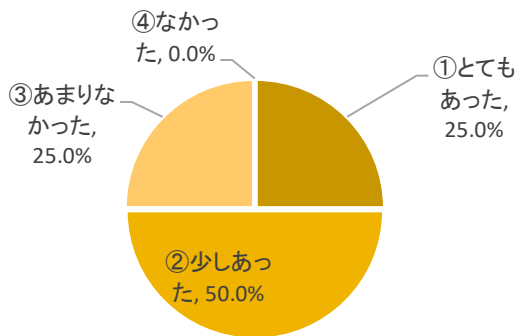
4. 1年生から外国語活動を行うことは、児童にとって良いことだと思いますか。



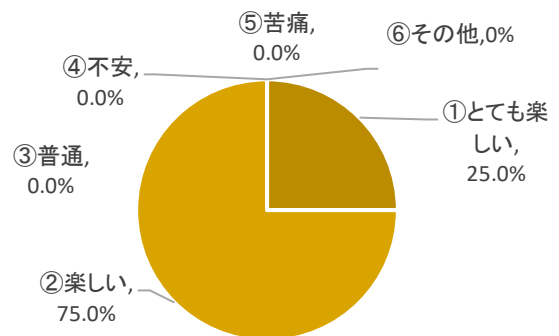
5. 外国語活動の授業以外で、児童が英語を使っているのを見かけたことはありますか。



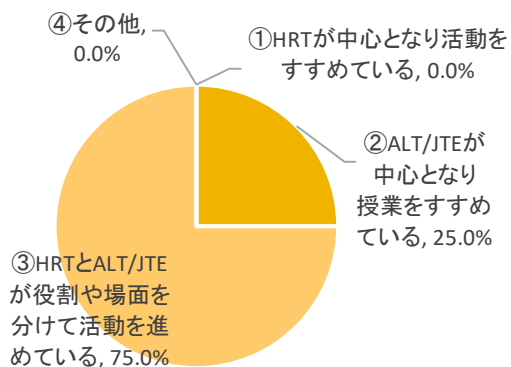
6. 英語活動を行うことで、先生自身に変化はありましたか。



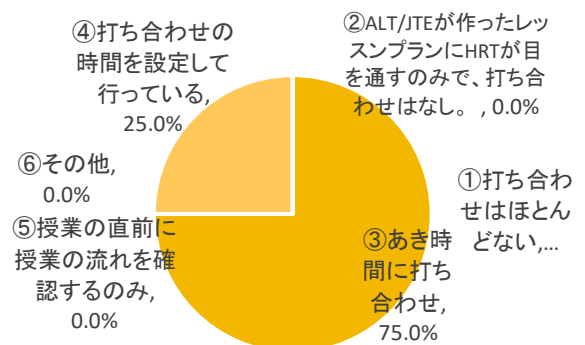
8. 外国語活動の授業を行うことをどのように感じていますか。



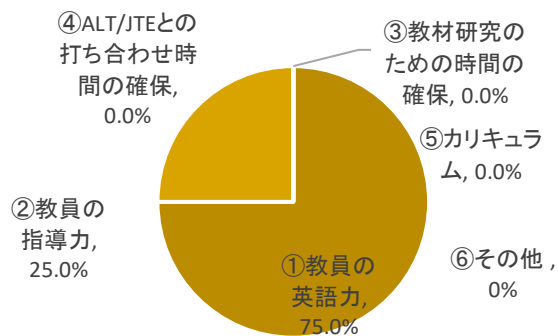
10. TTについて1番ちかいもの。



11. ALT・JTEとの打ち合わせについて。



12. 外国語活動を実施する上で課題だと感じていることは何ですか。



【別表 4】 令和4年度 教育課程特例校に関するアンケート（保護者）中川小学校

令和4年度 教育課程特例校に関するアンケート(保護者) 結果

